

センター通信

子どもの声に耳を傾けて



伊丹市教育委員会事務局学校指導課
伊丹市スクールソーシャルワーカー 木村 佳恵

スクールソーシャルワーカーの活動を通じて様々な子ども達に出会い、その声を聴くことがあります。ある不登校の子どもと話をしていた時、「今日は行けるかな、行こうかなって思うねん。だけど行けなくて、そんな時、悲しくて、あかんあかんって思って自分の腕をばんばんと殴るねん。」「それから、行事だけの参加とか、ようせえへんねん。そんなんにだけ来てって思われるのも嫌やし。だけど、学校行っても勉強分からんし…。」

学校に行かなければならないと思っているけれど行けない子どもの苦しさを知った時でした。周囲の目だけでなく、自分の現状も漠然とではあるが冷静に捉え、その中で湧き起こる感情と葛藤し、登校するには相当の勇気とエネルギーが要ることを改めて感じたのでした。

また、ある子どもは、「このままだったら、高校に行けるかな」「仕事にもちゃんと就けるのだろうか」と将来に対する不安でいっぱいになっています。この子は自信を喪失し、自尊感情が非常に低くなっています。自信はそう簡単につくものではありませんが、少しずつでも成功体験を積み重ねていく、そういう場を用意してあげることが周りの大人には求められていると思います。

また、友人関係でイライラし、周囲に暴言を吐き、不安定になっていた子どもの言葉。「お願いごと、書いてん。家族がみんな仲良く過ごせますように。」

きょうだいの中でその子だけお母さんにきつくあたられ、お母さんが嫌いな子どもでした。どの子も親に愛されたいし、家族仲良く暮らしたいと思っているのです。当初、お願いごとは学校でのことを書いたのかと思ったのですが、子どもの願いは家庭のことでした。もし、この子が学校で悲しい思いをして帰って来た時、家で話をじっくり聞いてくれる環境があったらどうでしょうか。辛い思いを受け止めてくれる家族がいたらどうでしょうか。学校でのことが家庭内で消化され、元気に過ごせていたかもしれません。

私たちは誰も居場所や所属感がないと不安や疎外感を感じます。学校、地域、家庭のどこかに、子ども達にとって本気で自分と向かい合ってくれる人がいると感じられ、居場所となる場を作っていくことが大事なのではないでしょうか。

※スクールソーシャルワーカーとは…学校を活動の拠点として、子どもと子どもを取り巻く環境(学校・家庭・地域)に働きかけ、問題を抱える子どもを支援していく福祉の専門職です。

**平成26年度伊丹市少年補導委員感謝状
贈呈式・委嘱状交付式・総会を開催**

去る4月25日(金)に、平成26年度伊丹市少年補導委員連合会総会が伊丹市立産業・情報センターで開催されました。

感謝状贈呈式、委嘱状交付式に来賓として伊丹警察署から築添史一(ちくぞえ・ひとかず)署長、林俊道生活安全課長、また、主催者側として増田平(ますだ・たいら)理事、木下誠(きのした・まこと)教育長など多くの出席をいただき、表彰・辞令交付の後、増田理事から市長メッセージ、築添署長にはお言葉を頂戴しました。

つづいての総会では 開会行事後、有岡ブロックの酒井理事が議長に選出され、宮北涼子会長始めとする執行部が再選され承認されました。

その後、平成25年度事業報告、決算報告が承認されました。平成26年度の青少年の健全育成と非行防止に向けた事業計画並びに予算も決定され、今年度の活動がスタートいたしました。

退任された補導委員の皆様、長期にわたり子ども達の健全育成にご尽力戴きましてありがとうございました。

伊丹市の子ども達の現状を見ますと、各地域における大人の協力、特に、少年補導委員の活躍が期待されるどころです。新しく補導委員に就いて戴きました皆様のご活躍を期待しております。

伊丹市少年補導委員連合会のさらなる発展のために、市民の皆様のご理解とお力添えをいただきますようお願いいたします。



少年補導委員の活動内容

少年補導委員は、市内17小学校区毎に6~10人で構成され、青少年に対する理解と愛情及び非行防止に対する熱意をもとに、互いに密接な連絡と協力をもって大きな成果をあげていただいております。

主な活動内容を紹介します。

1 問題行動の早期発見と補導活動

各地区ごとに街頭補導を月に4~5回ずつ行う「愛の一声」運動や、小学生の登下校時の見守り、声かけなどを行っています。

5月の主な行事

- 8日(木) 伊丹市少年補導委員連合会役員会・定例理事会
- 9日(金) 少年を守る日 一斉補導・市内広報
- 13日(火) 伊丹市少年進路相談員連絡会
- 14日(水) 伊丹市少年補導委員新任研修会
- 15日(木) 合同教育相談

- 2 有害環境等の情報収集と報告活動
「青少年を守る店」協力店への加入依頼活動やレンタルビデオ店・カラオケボックス・図書販売店・がん具類取扱店等の実態調査をしています。

- 3 青少年の非行防止活動
学校・PTA・自治会との連絡会に出席して、情報交換や健全育成についての意見交換をおこなっています。

- 4 その他
少年に危険な場所や状態を関係機関に連絡したり問題行動の相談を受けたりしています。また、青少年問題についての認識を深め、補導の力量を高めるための研修をしています。

※ 赤いジャンパー、ベスト(一部黄色)が目印です。

◆街頭補導の件数 《平成26年4月》

	幼小	中	高他	大人	計
声かけ・会話等	222	20	25	16	283
遊びに関して	26	2	0	1	29
ぐ犯・不良行為	0	1	6	0	7
交通に関して	21	10	28	56	115
計	47	13	34	57	151

◆電話・来所相談の件数 《平成26年4月》

	電話相談	来所相談
件数	11	3
前月比	+4	±0
累計	11	3

◆有害図書回収状況 《平成26年4月》

	数量	前月比	累計
有害図書	196	-107	
有害AV	472	+190	
計	673	+88	673

白ポスト設置場所(市内16箇所)

- (草家公園・阪急稲野駅・南センター・阪急新伊丹駅・阪急伊丹駅・いすみホール
パワ公園バス停・荒牧バス停・北センター・中野西公園・裁判所前・山田バス停
女性児童センター・JR伊丹駅1F・JR北伊丹駅南口・西桑津バス停)

- 16日(金) 県青少年補導センター連絡協議会総会・県青少年補導委員連合会総会
- 20日(火) 伊丹市青少年を守る店連絡協議会第1回役員会
- 23日(金) 県青少年補導委員連合会運営委員会
- 27日(火) 伊丹市少年育成協会総会・研修会
- 28日(水) 有害図書回収(市内16箇所白ポスト)

※ 「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター(Tel:780-3540)までお寄せください。